

短期予報解説資料 2025年7月5日15時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5880m以上の亜熱帯高気圧に対応して地上の高気圧が四国の南に停滞。西日本～東海地方では晴れて気温が上昇し、猛暑日となっている所がある。
- ② 北日本を通過中の500hPa 5820m付近のトラフ（300hPaで-30℃以下の寒気を伴う）に対応する地上の気圧の谷が東日本を通過中。東日本ではやや強い雨を解析。
- ③ 台風第3号が日本の東をゆっくり東進。また、台風第4号が南シナ海をゆっくり東北東進。
- ④ 南西諸島付近を西北西進する上層寒冷低気圧（UCL）と③の台風第4号周辺の下層暖湿気の影響で、沖縄の近海で雷を多数検知、非常に激しい雨や猛烈な雨を解析。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項②の気圧の谷は、5日夜にかけて日本の東に進む。上空の寒気や気圧の谷に向かう下層暖湿気及び日中の昇温の影響で、東日本では大気の状態が不安定となり、雷を伴い激しい雨が降り大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、降ひょうに注意。
- ② 1項①の高気圧は、5日は日本の南に停滞、6日は南西諸島付近に、7日は東シナ海に中心を移しながら本州付近を覆う。本州付近は7日にかけて、晴れて気温が上昇し広く真夏日となり、猛暑日となる所がある。熱中症など健康管理に注意（熱中症警戒アラート参照）。また、午後は内陸の山沿いを中心に大気の状態が不安定となる所がある。落雷や突風、短時間強雨に注意。
- ③ 1項③の台風第3号は、7日にかけて日本の東を北上。台風第4号は、6日にかけて南シナ海から台湾海峡付近に進み、7日は台湾海峡から東シナ海に進む。
- ④ 1項④のUCLは、6日にかけて華中付近に、7日は華北付近に進む。沖縄地方では7日にかけて、上空寒気や台風第4号周辺の下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い激しい雨が降り大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。また、台風第4号周辺では気圧の傾きが大きくなり、やや強い風や強い風が吹き、うねりを伴い波が高くなりしける所がある。沖縄地方では6～7日は、強風や高波に注意。
- ⑤ 北海道地方では6日は、500hPa 5640m付近のトラフに対応してサハリン付近に進む低気圧の影響で、気圧の傾きが大きくなり、やや強い風や強い風が吹き波が高くなる所がある。強風に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

- ### 4. 防災関連事項【量的予報等】
- ① 雨量(18時から24時間)：多い所(100mm以上)はない。
 - ② 波浪(明日まで)：沖縄3m。
 - ③ 高潮(明日まで)：東・西日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。